

令和2年度進行管理・評価シート
犬山市歴史的風致維持向上計画（平成31年3月26日認定）
（最終変更 令和3年3月15日）

□進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)		
1 計画の実施・推進体制	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)		
1 景観計画による良好な景観の維持	2
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)		
1 犬山城城郭調査事業	3
2 犬山城天守修理事業	4
3 史跡東之宮古墳整備事業	5
4 文化財保存事業費補助金事業	6
5 景観重要建造物助成事業	7
6 景観形成助成事業	8
7 犬山市歴史まちづくり賞事業	9
8 旧堀部家住宅整備事業	10
9 福社会館解体事業	11
10 城下町バナーワーク事業	12
11 空き家バンク事業	13
12 観光トイレ改修事業	14
13 犬山祭伝承保存事業	15
14 民俗文化財保存伝承事業	16
15 犬山市民総合大学敬道館歴史文化学部講	17
16 観光まちづくり事業	18
17 木曾川うかい船頭育成事業	19
18 木曾川犬山鵜飼漁法調査事業	20
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)		
1 歴史的建造物等の保存・活用・修理	21
2 文化財の防災	22
3 民俗文化財の保存伝承	23
4 文化財の普及啓発	24
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)	25
⑥その他(効果等)(様式1-6)	26
1 計画に位置付けた事業の完了数		
□法定協議会等におけるコメントシート(様式2)	27

評価軸①-1
組織体制

		評価対象年度	令和2年度
項目		現在の状況	
歴史的風致維持向上計画の推進体制		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	犬山市歴史まちづくり連絡調整会議を開催し、関係課との連携のもとに計画の推進と事業の実施を進める。さらに法定協議会である犬山市歴史まちづくり協議会において、計画の推進や計画変更、円滑な事業の実施に向けた協議を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
事業の進行管理・評価及び計画変更について「犬山市歴史まちづくり協議会」を開催し、その内容の審議を行い、了承を得た。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	歴史的風致維持向上計画で設定している重点区域を中心に、歴史的風致の維持向上を進めていくため、引き続き庁内での情報共有を図りながら事業を実施していく方針。歴史的建造物が滅失しつつある現状の克服や防災対策など、城下町の町並みを守り、文化財を活かした歴史まちづくりをこれからどう進めていくかが課題。		
状況を示す写真や資料等			
<ul style="list-style-type: none"> ● 犬山市歴史まちづくり協議会 ○ 開催日: 令和3年2月5日 ○ 開催場所: 書面による開催 ○ 議 題: <ul style="list-style-type: none"> ・犬山市歴史的風致維持向上計画(第2期)の進捗評価についての協議 ・犬山市歴史的風致維持向上計画(第2期)変更案についての協議 <p style="text-align: right;">他</p>			

評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

	評価対象年度	令和2年度
項目	現在の状況	
景観計画による良好な景観の維持	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容 「犬山市景観計画」では市全域を景観計画区域とし、建築物の形態意匠や高さなどについて景観形成基準を設定して届出を課している。景観計画で除外されている木曾川及び犬山城が位置する城山一帯については、自然公園法及び文化財保護法の規制に基づいて景観の保全を行っている。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

景観計画区域における住宅の新築・改修等行為の届出に対し必要な助言や手続きを実施した。
 ・令和2年度実績: 建築行為の届出
 景観阻害物件とされてきた犬山市福祉会館について、令和2年度に撤去を完了した。令和3年度に発掘調査を実施予定。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	福祉会館跡地の整備・活用を検討するため、令和3年度に発掘調査を実施する。大手門をはじめとした遺構解明を進め、将来的には史跡追加指定を目指す。

状況を示す写真や資料等

● 城下町地区の各ゾーン

地域・ゾーン	高さ	形態・意匠			
① 犬山城周辺地域	1. 城下町ゾーン	13m	壁面位置 ・町並みの連続性を崩さないよう、壁面の位置を道路境界線または、隣接する建築物の壁面位置にそろえる 屋根 ・勾配屋根、切妻平入り、日本瓦葺き(黒色・銀鼠色)とする 外壁 ・漆喰塗り、漆喰調、下見板張り等又は木目調仕上げとする ・基調(各面概ね 2/3 以上を目安とする面積)となる色は、落ち着いた低彩度*1のものを用いる 建具 ・外壁や周囲の建築物と調和した色や素材の建具枠を用いる ・開口部には格子を用いる 門・塀 ・建築物を道路境界から後退させて建築する場合は、道路に面する部分に周囲の建築物と調和した板塀などを設ける 設備機器 ・空調の室外機などは、道路等から見えない位置に設けるやむを得ず設ける場合は、格子などで覆い、周囲の景観を阻害しないよう配慮する ・また、給水管、ダクトなどは、道路から見える外壁面に露出しないよう配慮する 駐車場 ・建築物の前面に駐車場を設けないやむを得ず設ける場合は、格子戸や板塀を設けるなどして、まちなみの連続性を崩さないよう配慮する		
		2. 駅西・商業ゾーン	31m	壁面位置 ・まちなみの連続性を崩さないよう、壁面の位置を道路境界線または、隣接する建築物の壁面位置にそろえる 屋根 ・1階の軒や最上階などの庇に勾配の飾り屋根を設ける 外壁 ・まちなみの連続性、統一性を崩さない形態・意匠とし、周囲の建築物と調和した色とする 設備機器 ・空調の室外機などは、道路などから見えない位置に設けるやむを得ず設ける場合は、目隠し板などで覆い、周囲の景観を阻害しないよう配慮する ・また、給水管、ダクトなどは、道路から見える外壁面に露出しないよう配慮する	
			3. 木曾川河畔ゾーン	20m	屋根 ・勾配屋根とするか、1階軒や最上階等の庇に勾配の飾り屋根を設ける 壁面 ・周囲の建築物または犬山城やその周囲の自然景観に調和した色とする 設備機器 ・空調の室外機などは、道路などから見えない位置に設けるやむを得ず設ける場合は、格子などで覆い、周囲の景観を阻害しないよう配慮する ・また、給水管、ダクトなどは道路から見える外壁面に露出しないよう配慮する 緑化 ・木曾川沿いの道路に接する場所では、木曾川側の敷地境界と建築物との境界部分に中高木を植栽する

※1「低彩度」：マンセル表色系で、R(赤)およびYR(黄赤)系の色彩は彩度を6以下、Y(黄)系の色彩は彩度を4以下、また、その他の色彩は彩度を概ね2以下とし、周囲の歴史的な建築物が有する色彩と調和したもの。ただし、漆喰等の地域の歴史文化を色濃く表す素材や意匠等を用いる場合はこの限りでない。

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和2年度 現在の状況
犬山城城郭調査事業		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成20年度～令和2年度

支援事業名 埋蔵文化財緊急調査事業(平成29年度)

計画に記載している内容 第1期計画において実施した調査に加え、第2期計画では残りの石垣調査を実施するとともに、これまでの調査結果をもとに史跡犬山城跡の保存活用計画を策定し、その計画に基づき城郭全体の保存活用を進める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和2年度に石垣調査を実施し、予定していた調査をすべて完了した。
平成28年度より令和2年度までに実施した調査結果を踏まえ、史跡犬山城跡保存活用計画を策定した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和2年度
項目		現在の状況	
犬山城天守修理事業		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成30年度～令和元年度		
支援事業名	国宝重要文化財等保存整備補助金		
計画に記載している内容	平成30年度は主に1階天井の水平構面の構造的補強を実施した。令和元年度は3、4階南北面の壁面を補強することで天守全体の耐震性を高める。併せて内外部の漆喰や下見板等の補修を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
工事期間中は3階以上を入場禁止とし、適正かつ安全に予定した工事を終了し、経年劣化した個所の修理及び耐震補強をすることができた。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
<ul style="list-style-type: none"> ● 犬山城天守修理事業 <ul style="list-style-type: none"> ○ 工期: 令和元年7月5日から令和元年12月27日 ○ 工事内容: 天守3・4階壁耐震補強 <ul style="list-style-type: none"> 2階から3階までの階段踏板補強 大屋根等瓦葺直し、漆喰壁塗直し 外部木部塗直し、外部建具補修 			
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 工事中に足場が組まれた犬山城 </div>	

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和2年度 現在の状況
史跡東之宮古墳整備事業		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成29年度～令和2年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(都市再生事業に関連する効果促進事業)
歴史生き生き！史跡等総合活用整備事業

計画に記載している内容 東之宮古墳の実像とその歴史的価値を来訪者に正しく理解してもらうため、遺跡の保存と計画に基づく樹木の適切な管理をしながらガイダンス施設として整備をする。AR史跡システムの導入や周辺施設とのネットワーク化も進める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和2年度は樹木剪定、解説板の設置、遊歩道の舗装などの整備工事が実施し、予定どおり完了した。令和3年3月に関係者による内覧会を開催し、供用を開始した。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



完成した遊歩道及び解説板(令和3年2月撮影)



整備した解説板(令和3年2月撮影)

評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和2年度
項目	現在の状況	
文化財保存事業費補助金事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成22年度～令和10年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)

計画に記載している内容 国登録有形文化財(建造物)等を地域の資産として残していくための修理費に対する経費の一部を助成する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

伝統的建造物の維持・修理には多額の費用が必要であるため、補助制度を活用することで所有者の経済的負担を軽減し、歴史的建造物の適正な保存を図った。
令和2年度実績:1件

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	歴史的建造物が滅失し続ける状況を改善するため、引き続き、歴史的建造物の改変・取り壊しを防ぐための事業を推進していく。

状況を示す写真や資料等

● 尾関家住宅

- 修理内容
 - 【構造他】・・・雨漏りしている土蔵の屋根の葺き直し、1階床の貼り替えを行う。
 - 【外部仕上】・・・破風漆喰の塗直しを行う。



修理工事前の状況

修理工事後の状況

評価軸③-3
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和2年度
項目	現在の状況	
景観重要建造物助成事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間	平成20年度～令和10年度
支援事業名	社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)
計画に記載している内容	各町内が所有している車山蔵の内、景観重要建造物の指定を受けた車山蔵の修景整備に対する経費の一部を助成する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

候補物件：犬山祭の車山蔵 11件(うち民間所有9件)
 指定物件：5件
 車山蔵は犬山城下町の景観特性を象徴する建造物の一つであり、景観重要建造物に指定し修景助成をすることで、観光客に犬山祭に親んでもらう場を提供することができた。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	平成29年度に5件の指定を行ったが、その後の指定がないため、引き続き積極的な指定及び助成を実施していく。

状況を示す写真や資料等

●令和2年度現在の景観重要建造物



本町車山蔵



新町車山蔵



練屋町車山蔵



熊野町車山蔵



魚屋町車山蔵

評価軸③-4
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和2年度
項目	現在の状況	
景観形成助成事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成20年度～令和10年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)

計画に記載している内容 景観条例によって定められた景観形成促進地区において、景観の保全を目的とした修景・改修事業に対する経費の一部を助成する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

犬山市景観条例に基づき、住民からの町内単位の申し出によって景観形成地区を設定しており、景観形成地区内の建造物で、所有者から助成希望のあった修景・新築物件の主要構造部及び外観に対して補助を行った。
令和2年度実績:0件

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

 新型コロナの影響もあり今年度は改修等の物件が無かった。来年度歴史的建築物の改修補助を拡充する予定であり、歴史的建造物の保存について理解を促しながら、引き続き修景及び新築工事に対する適正な助言を行う。

状況を示す写真や資料等

これまでの修景事例



修景前



修景前

評価軸③-5

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和2年度
項目	現在の状況	
犬山市歴史まちづくり賞事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成29年度～令和3年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 重点区域内には犬山城下町の町家の特徴を残した歴史的に価値の高い建造物が多く残っているが、世代交代などにより改変や取り壊しが進んでいる。そこで、城下町に相応しい意匠を残している建造物を表彰し、歴史的建造物保存への理解を促すために実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成29年度から令和元年度までに15件を表彰し、令和2年度は3件を表彰した。これら18件の内、国登録有形文化財及び歴史的風致形成建造物になっていない建造物は8件であり、文化財等に登録及び指定されていない建造物を積極的に表彰することで、所有者の保存に対する意識向上につながっている。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

歴史的に貴重な意匠を残した建造物が年々減少している現状を改善するためには、所有者意識と地域の保存に対する雰囲気作りが不可欠であり、今後も引き続き受賞建造物を広く周知し、建造物の歴史的な価値を伝えていく。

状況を示す写真や資料等

【令和2年度受賞建造物】



評価軸③-5

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和2年度
項目		現在の状況	
旧堀部家住宅整備事業		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成30年度～令和元年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	国登録有形文化財である旧堀部家住宅は、平成21年度に市が取得して以来、地域の歴史を発信する施設として地域の歴史を発信する施設として整備・公開してきた。経年劣化により損傷が激しい箇所があるため、土壁の補修工事を実施する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和元年度に工事を完了し、適正に公開を行っている。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
<ul style="list-style-type: none"> ● 旧堀部家住宅整備事業 ○ 工期: 令和元年12月19日から令和2年3月18日 ○ 工事内容: 漆喰壁塗直し <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center; margin-top: 20px;">  <div style="border: 1px solid blue; padding: 5px; margin-left: 20px;">壁塗直しの様子</div> </div>			

評価軸③-5

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和2年度
項目		現在の状況	
福祉会館解体事業		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	令和元年度～令和2年度		
支援事業名	集約促進景観・歴史的風致形成推進事業 歴史的観光資源高質化支援事業 社会資本整備総合交付金(住宅・建築物安全ストック形成事業)		
計画に記載している内容	景観阻害物件であり、景観計画の既存不適格建造物である福祉会館を除去することにより、城下町の景観改善に寄与する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和2年度は令和元年度に策定した実施計画及び実施設計に基づき適正に解体工事を実施し、予定どおり完了した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	令和3年度は発掘調査を行い、歴史的な遺構を確認した上で、今後の整備計画について関係課で連携して検討を進める。		
状況を示す写真や資料等			
<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>解体前の城下町</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>解体後の城下町</p> </div> </div>			

評価軸③-5
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和2年度
項目	現在の状況	
城下町バナーワーク事業	<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成30年度～令和元年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 住民及び事業者も含めたワークショップにより、城下町の広告物ガイドラインを作成する。将来的な条例化を含めて、住民及び事業者に対し周知・啓発を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

市民主体で作成することにより観光客だけでなく、事業者や住民目線に立ったガイドラインを策定することができた。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



ワークショップの様子
【H30.8撮影】



ガイドライン冊子
【令和元年5月発行】

評価軸③-5
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和2年度
項目	現在の状況	
空き家バンク事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成27年度～令和10年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(地域住宅計画に基づく事業)

計画に記載している内容 空き家を地域の資源として有効活用するため、市内に存在する空き家を対象に情報提供や希望者とのマッチングを目的として運用する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

これまでの累計 申込件数 51件、活用件数 31件

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	後継者不在等により放置された空き家を減らすため、今後も民間とも連携を図りながら事業を継続していく。来年度はさらに歴史的建築物の所有者に対して利活用促進を促す取り組みを実施していく。

状況を示す写真や資料等



市ホームページでのPR



評価軸③-5
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和2年度
項目	現在の状況	
観光トイレ改修事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input checked="" type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 令和2年度～令和3年度

支援事業名 愛知県観光施設費等補助金

計画に記載している内容 老朽化したトイレを改修するとともに、和式トイレから洋式トイレに変更する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

計画期間を令和3年度に変更するため、令和2年度は未着手である。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	令和3年度に実施設計策定及び施工の予定である。

状況を示す写真や資料等



現在の観光トイレ

評価軸③-5
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和2年度
項目		現在の状況	
犬山祭伝承保存事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 昭和47年度～令和10年度

支援事業名 市単独事業

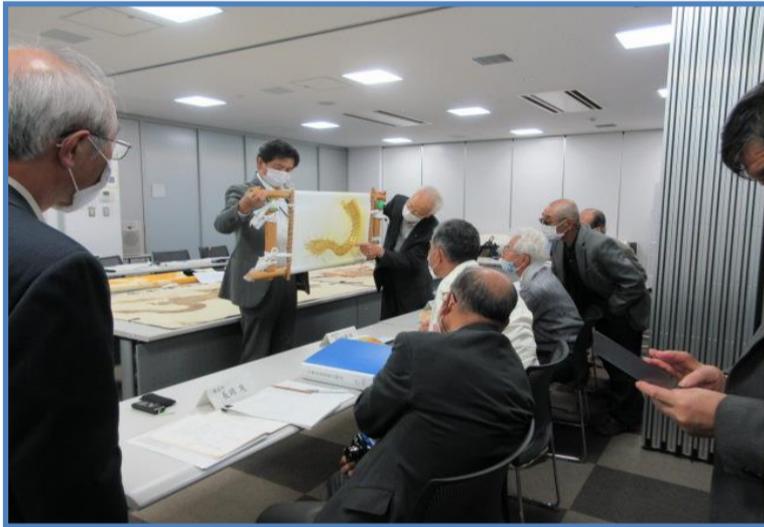
計画に記載している内容 犬山祭を正しく継承するため、車山本体や幕、からくり人形等の修理や復元新調に対し、費用の一部を助成する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

練屋町の中幕の復元新調(2か年事業の1年目)に対し助成を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	今後も引き続き犬山祭を正しく継承していくため、文化庁や有識者の指導の下、町内と連携して取り組んでいく。

状況を示す写真や資料等



修理委員会の様子【令和2年10月撮影】



刺繍内金具の成分分析の様子

評価軸③-5
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和2年度
項目	現在の状況	
民俗文化財保存伝承事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成22年度～令和10年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 市内で継承されている神社等で行われる神楽等の伝統行事に使用される道具などの保存修理及び新調、後継者育成事業に対して助成する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

7件の後継者育成事業に対し助成を行った。
当初25件の申請があったが、今年度はコロナ感染症拡大による影響で祭事を取りやめる団体が多かった。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	後継者や指導者の不足が深刻化する中で、経済的な支援とともに、現状の記録を残すことで正しく行事を継承できるよう今後も努める。

状況を示す写真や資料等



練習の様子

評価軸③-5
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和2年度
項目		現在の状況	
犬山市民総合大学敬道館歴史文化学部講座開催事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成14年度～令和10年度

支援事業名 市単独事業

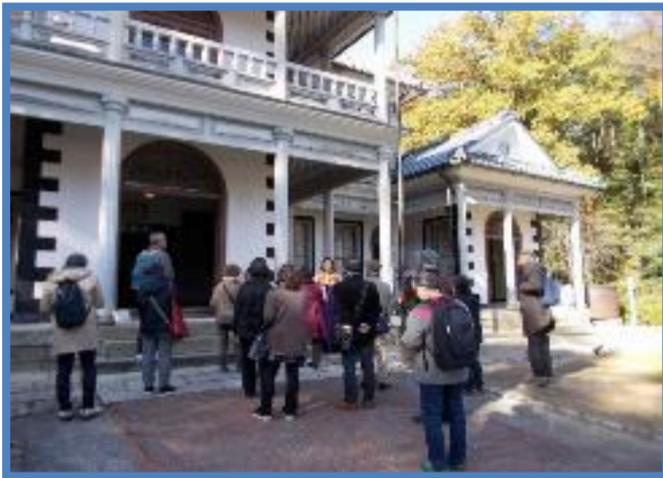
計画に記載している内容 生涯学習の場として開設されている犬山市民総合大学敬道館歴史文化学部講座を通して、市民の歴史文化への理解を促す。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和2年度はコロナ感染症拡大の影響で中止となった。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	市民の歴史文化への理解が深まり、市民との連携が促されることによって、歴史的風致はより向上するものと考え、今後も引き続き事業を継続する。

状況を示す写真や資料等



明治村での現地見学の様子
【令和元年11月撮影】

評価軸③-5

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和2年度
--	--------	-------

項目	現在の状況
観光まちづくり事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 令和元年度～令和4年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 近年の城下町における交通渋滞やごみ問題などの課題解決に向けて、住民、事業者、民間団体と課題を共有し、まちづくりを中心となって展開していくリーダーの育成や、新たな観光コンテンツの造成を図るため、研修会や勉強会を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

コロナ感染症拡大防止の観点から、観光まちづくり会議は開催しなかった。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	まちづくり会議に参加する人をどのように増やしていくか、課題を共有した上で、どうすれば改善のための取り組みに繋げていけるかが重要である。引き続き粘り強く対話の機会を設け続けることが必要であると考え

状況を示す写真や資料等



観光まちづくり会議
【令和元年10月撮影】

評価軸③-5

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和2年度
項目	現在の状況	

木曾川うかい船頭育成事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
--------------	--	---------------------------------------------------------------------------------------------------------

事業期間 平成29年度～令和10年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 長い歴史を持つ伝統漁法である鵜飼を、保存継承していくために必要となる船頭が高齢化しているため、後継者の発掘と若手船頭の育成をする。木曾川観光(株)のベテラン船頭が指導員として、公募による見習い船頭を「なか乗り」と「とも乗り」として育成するため、鵜舟と観覧船の乗船を通して指導及び安全管理を行う。
 定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和2年度は「なか乗り」「とも乗り」とともに180回の研修を実施し、ベテラン船頭の指導の下技術を磨いた。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	今後も引き続き後継者の育成を継続していく。
------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------

状況を示す写真や資料等



研修の様子
(令和元年度撮影)



評価軸③-5

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和2年度
--	--------	-------

項目	現在の状況
木曾川犬山鵜飼漁法調査事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input checked="" type="checkbox"/> 未着手

事業期間	令和2年度～令和3年度
------	-------------

支援事業名	市単独事業
-------	-------

計画に記載している内容	木曾川で行われている伝統的漁法である鵜飼については、これまでに専門的な調査が行われていない。鵜飼漁法を後世に正しく継承していくためには、往古の様子を伝える資料を整理し、また現況を詳細に記録しておく必要がある。そのため、総合的な調査をし、鵜飼の適正な保護を図るものとする。
-------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

今年度より着手した犬山市文化財保存活用地域計画の作成に伴って実施する市内の文化財等悉皆調査に含めることとしたため、未着手である。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
----------------	--------------------------

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	令和3年度は他の文化財等の調査と併せて、聞き取りや資料の整理等に着手する。
------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------

状況を示す写真や資料等



夜鵜飼の様子

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	令和2年度
項目		現在の状況	
歴史的建造物等の保存・活用・修理		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	指定等文化財の適正な保存・管理を図るとともに、周辺環境や関係組織も含めた一体的な保存・管理・活用を推進するため、文化財保存活用地域計画の策定を目指し、文化財の調査及び啓発を図る。文化財の修理については、専門機関の指導・助言を得ながら県や国との連携の下で進め、その文化的価値の維持に努める。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和2年度に犬山城城郭全体の恒久的な保存活用の推進を目指す「史跡犬山城跡保存活用計画」の策定をした。この策定に向けて、○回の保存活用計画策定委員会を開催した。 また、文化財全体の一体的な保存・管理・活用を図るため、令和2年度より文化財保存活用地域計画の策定に着手し、2回の文化財保存活用地域計画策定委員会を開催した。			
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)			
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	史跡犬山城跡保存活用計画に基づき、今後も引き続き城郭全体の適正な保存活用を図っていく。また犬山市文化財保存活用地域計画策定に向けて市内全域における文化財等の悉皆調査を進める。		
状況を示す写真や資料等			
<p>● 犬山城保存活用計画策定委員会</p> <p>○開催日:令和2年8月27日、11月10日、令和3年3月2日</p> <p>○委員:名古屋工業大学大学院教授 麓和善(委員長) (元)奈良文化財研究所 文化遺産部長 高瀬 要一 奈良大学教授 千田 嘉博 他計11名</p> <p>○議題 ・犬山城保存活用計画策定について ・天守の防災計画について 他</p> <p>● 犬山市文化財保存活用地域計画策定委員会</p> <p>○開催日:令和2年10月23日、令和3年2月26日</p> <p>○委員:犬山市文化財保護審議会副会長 赤塚 次郎 文化庁文化審議会専門委員 鬼頭 秀明 犬山城白帝文庫学芸員 笥 真理子 他計11名</p> <p>○議題 ・犬山市文化財保存活用地域計画策定について ・今後の策定スケジュール及び調査体制について 他</p>			
			
		<p>令和2年度第1回犬山市文化財保存活用地域計画策定委員会の様子【令和2年10月撮影】</p>	

		評価対象年度	令和2年度
項目		現在の状況	
文化財の防災		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	自動火災報知器、屋内消火栓、放水銃等の設置及び更新を図る。文化財所有者に対して防災に係る周知をしたり、文化財防火デーにあわせ、所有者、管理者、地域住民、自主防災組織及び消防署等と連携して防災訓練を実施する。また、警備体制の見直しや防犯啓発看板の設置など防犯対策に努める。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
文化財の保護と防災への意識を所有者や市民に啓発するため、文化財防火デーにあわせて国宝犬山城と明治村での消防訓練を実施。特に犬山城では夜間に災害が発生した場合を想定した訓練を初めて実施し、夜間警備の担当職員の意識向上を図った。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	平成27年1月と平成30年2月に相次いで城下町で火災が発生し、貴重な文化財を失った経験から、引き続き文化財所有者に対する防火啓発を行うとともに、防火設備設置への助成を推進し、出火時の初期消火体制の向上を図る。さらに犬山城の警備体制の見直しや防犯啓発看板の設置など、防犯対策を強化する。		
状況を示す写真や資料等			

● 消防訓練の状況



犬山城での防災訓練【令和3年1月撮影】



明治村での防災訓練【令和3年1月撮影】

評価軸④-4

文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	令和2年度
項目		現在の状況	
民俗文化財の伝承保存		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	地域の祭礼行事の実施や継承にあたっては、町内会や文化財保存団体などとの連携が不可欠である。地域の文化財保存活動への助成や情報提供などを行い、また祭礼等伝統文化の後継者育成を図るための支援をしながら地域住民を主体とした文化財保護事業を推進する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
犬山祭伝承保存事業では、練野町中幕の復元新調に対し、費用助成を行った。復元にあたっては、犬山祭伝承保存委員会や修理委員会の下で、修理方法等について委員や文化庁の助言を得ながら行った。 民俗文化財保存伝承事業では、7団体の後継者育成事業に対し助成を行い、祭礼行事の継承を図ることができた。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	祭礼行事等の民俗文化財は少子高齢化に伴う後継者不足が依然深刻であり、今後も後継者育成に対する継続的な支援をしていく。		
状況を示す写真や資料等			
<ul style="list-style-type: none"> ● 犬山祭伝承保存委員会 ○ 開催日: 令和2年6月4日(書面会議)・令和2年10月8日 ○ 委員: 全国山・鉾・屋台保存連合会顧問 植木行宣【委員長】 文化審議会専門委員 鬼頭秀明 犬山祭保存会副会長 多和田兼道 他計13名 ○ 助言者: 文化庁文化財部伝統文化課文化財調査官 前田俊一郎 他計4名 ○ 議題: 報告事項 令和2年度の事業の進捗について 令和3年度の事業の予定について 			

評価軸④-5

文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	令和2年度
項目		現在の状況	
文化財の普及啓発		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	歴史的風致に関する市民意識の向上を図るため、文化財の積極的な公開と現地見学や公開講座など文化財に親しむ機会を創出する。また、ホームページやSNSを通じた情報発信や情報の多言語化を進め、幅広い年齢層や外国人に対しての普及・啓発を推進する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
史跡東之宮古墳について楽しく学んでもらう機会として、令和元年度に作成した学習アプリ「東之宮古墳たび」を使った散策ツアーを2回実施し、合計41名が参加した。犬山駅から東之宮古墳にゆかりの場所に立ち寄りながら、様々な角度から東之宮古墳の意味や価値を学び、現地ではスマートフォンを手にしながら、竪穴式石槨内部の様子などを見学して、東之宮古墳についての理解を深めることができ、好評を得た。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		今後も引き続き、市内の様々な文化財に触れる機会を増やし、市民の郷土愛の醸成と文化財保護への理解を促していく。	
状況を示す写真や資料等			
			
<div style="border: 1px solid blue; padding: 5px; display: inline-block;"> 散策ツアーの様子【令和2年12月撮影】 </div>			

評価軸⑤-1

効果・影響等に関する報道

		評価対象年度	令和2年度
報道等タイトル	年月日	掲載紙等	
「犬山からくりミュージアム」オープン	令和2年6月2日	中部経済新聞	
犬山城再開 来場者に笑顔	令和2年6月7日	中日新聞	
アプリで古代に思いはせ 東之宮古墳散策ツアー	令和2年9月20日	中日新聞	

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

犬山城、城下町を始めとする市内文化財の保存及び活用について、各報道機関に情報を提供することで取り上げてもらうことができ、市の取り組みについて市内外に周知することができた。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし	歴史まちづくりの取り組みについては、引き続き周知を図り、報道機関に取り上げてもらうことでPRにつなげる。

状況を示す写真や資料等

- 【犬山城に関する記事・取材】
 - 愛知に残したい五感 犬山城からの眺め【R2. 5. 4 中日新聞】
 - 2020年犬山城入場者26万4252人 コロナ禍で激減【R3. 1. 6 中日新聞】
- 【犬山祭に関する記事・取材】
 - 「祭人魂」【R2. 8. 15 東海テレビ】
- 【その他】
 - 観光地にぎわい消えた【R2. 4. 12 読売新聞】
 - 涼しげ 乙な犬山焼風鈴【R2. 6. 3 中日新聞】
 - 古代ロマンに思いはせ 青塚古墳で小中生向け見学会【R2. 8. 8 中日新聞】

評価軸⑥-1
その他(効果等)

評価対象年度 令和2年度

項目

計画に位置付けた事業の完了数

計画に記載している内容
所有者や実施者の高齢化などにより維持が困難な歴史的建造物の保存・活用や地域の祭礼行事・伝統文化の継承を図るための調査及び事業を推進する。歴史的風致維持向上施設の整備・管理については、周辺の景観に配慮しながら、またその施設の役割や地域の歴史的背景を十分に調査・検討しながら進める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

第2期計画に位置付けた21事業のうち、令和元年度に完了した7事業に加え、令和2年度には新たに3事業が適正に実施され、完了した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

今後も市内関係課同士の連携を図りながら、また国・県および法定協議会委員の指導の下、適正に実施していく。補助金が活用できるものは積極的に活用していく。

状況を示す写真や資料等



東之宮古墳史跡公園
オープニングセレモニーの様子

法定協議会等におけるコメント

(様式2)

評価対象年度	令和2年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称: 犬山市歴史まちづくり協議会	
会議等の開催日時: 令和3年2月5日	
(コメントの概要)	
<ul style="list-style-type: none">・歴史的風致の維持向上に対して、計画に基づいて着実に事業が進められていることを評価します。・文化財の保存に注力する一方で、文化財の活用や普及啓発の強化を期待します。	
(今後の対応方針)	
令和2年度に解体された旧犬山市福祉会館の跡地利活用計画の検討においては、城下町景観への配慮など、歴史的風致の維持向上に繋がるよう庁内および関係団体等と連携しながら進める。防災については住民の自主防災組織の強化も含めた地域全体の防災機能強化をより一層図っていく。	